SANWA SUPPLY

# 小型無停電電源装置 取扱説明書

パソコン用
UPS
小型無停電電源装置

## UPS-500 小型無停電電源装置

ご使用前にこのマニュアルをよくお読み下さい。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいて下さい。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は一般的に各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## はじめに

このたびは、無停電電源装置(UPS) UPS-500をお買い上げいただき誠にありがとうございます。UPSは接続したパソコンを電源トラブルから守ります。

**※本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。**
本書では、UPSの性能を最大限生かして有効寿命の間ご使用いただけるよう、安全性、設置方法、および操作手順について説明しています。

**※このマニュアルを保管してください。**
本書では、安全に使用する方法が記載されています。またUPSに問題が生じた場合、お買い求めの販売店に連絡する前に、このマニュアルを参照してください。

**※梱包材の保管**
UPSの梱包材は、輸送中に生じる衝撃から装置を保護するように設計されています。サービスのためにこのUPSを返送する際には、この梱包材が必要になります。輸送中に発生した破損は保証の対象になりません。

1998年 12月 第1版

このたびは、無停電電源装置(UPS) UPS-500をお買い上げいただき
誠にありがとうございます。

1.この取扱説明書は大切に保管してください。
2.この取扱説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。
3.この取扱説明書に書かれた注意を守らずに使用された結果については、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
4.この取扱説明書の内容の一部または全部を無断で複写・転写しないでください。
5.この取扱説明書の内容は万全を期して作成しておりますが、お気付きの点、ご不明の点がございましたら、お手数でもお買い上げの販売店または最寄りの営業所までご連絡ください。

Copyright © 1998

サンワサプライ株式会社



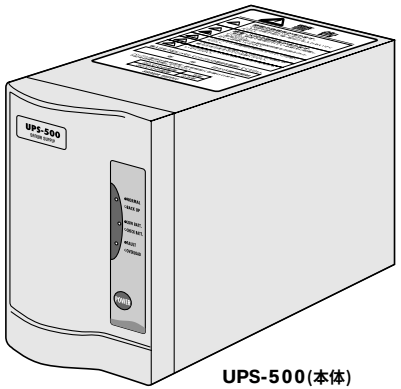
## セット内容の確認

まず、梱包箱を開けて、セット内容を確認してください。
不足しているものがありましたらお買い上げの販売店までご連絡ください。

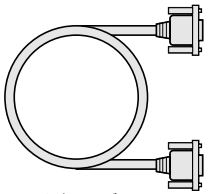
最初にご確認ください。

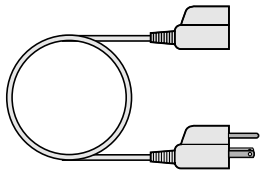
**セット内容**

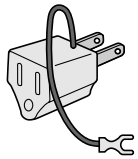
- ●小型無停電電源装置(UPS-500)本体 ……1台
- ●入力電源ケーブル ……1本
- ●3P→2P変換アダプタ ……1個
- ●通信ケーブル ……1本
- ●自動シャットダウンソフト ……1枚
- ●取扱説明書兼保証書(本書) ……1部



UPS-500(本体)


通信ケーブル


入力電源ケーブル


3P→2P変換アダプタ

## 安全上のご注意

1.安全にお使いいただくために

①ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくお使いください。

②この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」、「注意」として区別してあります。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | 取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。 |
| ⚠ 注意 | 取り扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて中程度の障害や軽傷をを受ける可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。 |

なお、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載しておりますので必ず守ってください。

禁止・強制のマークの説明を次に示します。

| | |
|---|---|
| 禁止 | 禁止(してはいけないこと)を示します。 |
| 強制 | 強制(必ずしなければならないことを)示します。<br>例えば、接地の場合は ⏚ となります。 |

③警告表示がかすれていたり、警告ラベルが破損した場合は、お買い上げの販売店に連絡していただき、常に明瞭な状態を維持するようにしてください。

2.取扱説明書内の警告文について

①危険回避の警告

設置上の注意事項

**⚠ 注意**

●UPSは前後左右に2.5cm以上の空間を設けて設置してください。
●UPSの通風口はふさがないでください。
●UPSの上面には物を載せないでください。
●次のような環境での使用・保管は絶対にしないでください。
故障・損傷・劣化などによって、火災の原因になることがあります。
①カタログ・取扱説明書に記載の周囲温度から外れた高温・低温・多湿となる場所
②直射日光が当たる場所
③ストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所
④車載・船舶等、振動や衝撃の加わる場所
⑤火花が発生する機器の近く
⑥粉塵・腐食性ガス・塩分・可燃性ガスがある場所
⑦屋外 (参照ページ:7)

配線上の注意事項

**⚠ 注意**

アース線を確実に接続してください。
アース線を接続していない場合、感電のおそれがあります。 (参照ページ:9)



配線上の注意事項

**⚠ 注意**

延長用の電源や蛸足配線となるアダプタは使用しないでください。
(参照ページ:9)

使用上の注意事項

**⚠ 注意**

UPSのカバーは開けないでください。
感電のおそれがあります。 (参照ページ:16・17)

**⚠ 注意**

UPSが故障し、異臭・異音がした場合はUPSをすぐに停止してください。
火災の原因になる場合があります。 (参照ページ:9・11・17)

通風口に棒・指などの異物を入れないでください。 (参照ページ:11・17)
感電のおそれがあります。

入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。
運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が環流し、アークが発生してやけど・視覚の障害などのおそれがあります。 (参照ページ:11・17)

UPSが運転している状態で入力電源ケーブルを抜かないでください。
感電・やけどのおそれがあります。 (参照ページ:11・17)

運転中はUPSを絶対に移動させないでください。 (参照ページ:11・17)
感電・やけどのおそれがあります。

負荷を減らす場合、UPSを停止させてください。 (参照ページ:11・17)
火災・やけどの原因になる場合があります。

**⚠ 注意**

UPSが運転中(商用/バックアップインジケーター点灯)に、入力電源ケーブルを抜かないでください。停電と同じ状態になり、バッテリが放電します。 (参照ページ:12・13)

**⊘ 禁止**

UPS周辺での喫煙・火気の使用を禁止します。 (参照ページ:11)
爆発・破損により、けが・火災のおそれがあります。

UPSの上部に花瓶など水の入った容器を置かないでください。
花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電・UPS内部からの火災の原因になることがあります。

UPSの上部に乗ったり、踏み台にしたりしないでください。

次のような用途には絶対に使用しないでください。
a.人命に直接かかわる医療機器などへの使用。
b.人身の損傷に至る可能性のある航空機・電車・エレベータなどへの使用。
c.社会的・公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用。
d.これらに準ずる装置。

保守・点検上の注意事項

**⚠ 注意**

本UPSは定期的に交換してください。
交換時期を過ぎたUPSは火災の原因になることがあります。 (参照ページ:13・17)

**⊘ 禁止**

当社が指定した保守員以外の人は、保守・修理をしないでください。(参照ページ:17)
感電・けが・火災のおそれがあります。

②装置の性能に関する注意事項

使用上の注意事項

**⚠ 注意**

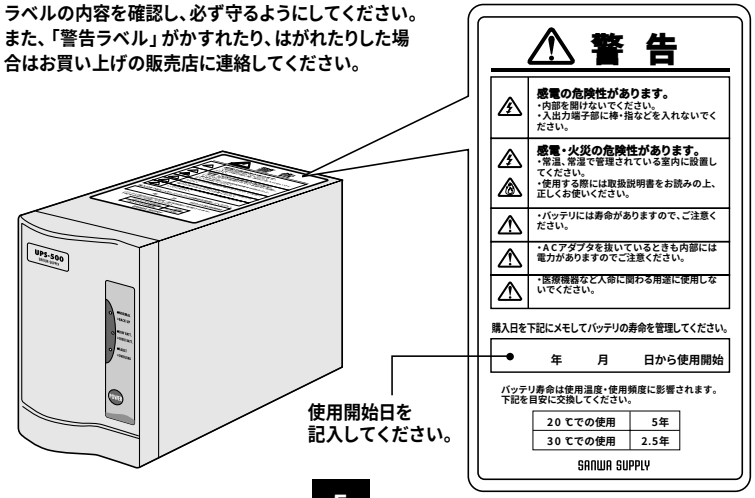
バッテリは使用しなくても自然放電します。3ヶ月ごとに24時間のバッテリ充電運転を行ってください。
バッテリが使用できなくなることがあります。 (参照ページ:13)

**⚠ 注意**

負荷の消費電力の合計が500VA 5A(300W)以下にしてください。
本装置はコンピュータの周辺機器用に設計しています。
トランスやインダクタなどの巻線類負荷には適合しません。
レーザープリンタを接続しないでください。 (参照ページ:10)

3、警告ラベル」の表示の位置

UPS-500には次のような「警告ラベル」が付いています。
ラベルの内容を確認し、必ず守るようにしてください。
また、「警告ラベル」がかすれたり、はがれたりした場合はお買い上げの販売店に連絡してください。






## 目次 CONTENTS

1.設置場所 ・・・

## 1.設置場所

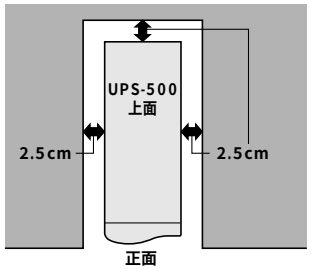
UPS-500は、屋内用に設計されています。適切な環境でご使用ください。

**⚠ 注意**

- ●UPSは前後左右に2.5cm以上の空間を設けて設置してください。
- ●UPSの通風口はふさがないでください。
- ●UPSの上面には物を載せないでください。
- ●次のような環境での使用・保管は絶対にしないでください。
  故障・損傷・劣化などによって、火災の原因になることがあります。
  ①カタログ・取扱説明書に記載の周囲温度から外れた高温・低温・多湿となる場所
  ②直射日光が当たる場所
  ③ストーブ等の熱源から熱を直接受ける場所
  ④車載・船舶等、振動や衝撃の加わる場所
  ⑤火花が発生する機器の近く
  ⑥粉塵・腐食性ガス・塩分・可燃性ガスがある場所
  ⑦屋外

●使用環境　温度：0～40℃
　　湿度：10～90%(ただし、結露しないこと)

●設置スペース
UPS-500は磁気漏洩があり、CRTディスプレイ等に影響を及ぼす場合がありますので、この時は影響を及ぼさない距離に設置願います。



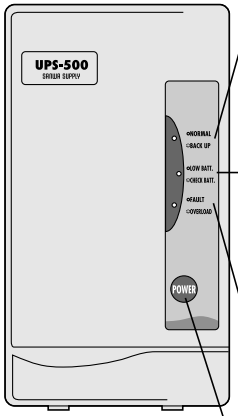

## 2.安全上の重要な注意事項

- ●UPSはバッテリ(公称電圧12V)を内蔵しています。装置が商用電源に接続されてない場合でも感電する危険があります。
- ●発火または感電のおそれがありますので、本書に記載されている指定範囲内の温度・湿度のある場所に設置してください。
- ●UPSはバッテリ(公称電圧12V)を内蔵しています。商用運転中のとき、装置が商用電源に接続されていない場合でもバックアップ出力コンセントは出力があります。
- ●UPSは、ホコリのない風通しのよい室内に設置してください。
- ●UPSは、アースのある2極3線式コンセントに接続してください。このコンセントは適切な分岐保護回路(ヒューズまたはサーキットブレーカ)に接続されている必要があります。
  その他のコンセントに接続しますと感電のおそれがあります。
- ●緊急時にUPSを完全停止させるためには最初に電源スイッチを3秒以上押して、UPSの運転を停止させてください。それから、UPSの入力プラグを壁のコンセントから抜いてください。



## 3.各部の名称

フロントパネル




**①商用/バックアップインジケーター**

LEDランプ　○NORMAL/＊BACK UP
ランプ(緑)が点灯‥‥商用運転中
ランプ(緑)が点滅‥‥バッテリから電力を供給中

**②バッテリインジケーター**

LEDランプ　○LOW BATT/＊CHECK BATT
ランプ(黄)が点灯‥‥バッテリの残量が少なくなっています。
　　ブザーが1秒ごとに鳴り、運転を停止します。
ランプ(黄)が短い間隔(3秒以内)で点滅
　　‥‥UPSのセルフテスト実行中
ランプ(黄)がやや長い間隔(3秒以上)で点滅
　　‥‥バッテリの異常か、バッテリのチャージャーの故障があります。

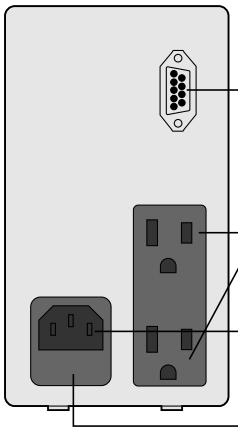
**③フォルト/負荷インジケーター**

LEDランプ　○FAULT/＊OVERLOAD
ランプ(赤)が点灯‥‥UPSに問題が起こっています。
　　ブザーが約30秒間鳴り続け、UPSの運転を停止します。
ランプ(赤)が点滅‥‥負荷が過負荷状態になっています。
　　この場合は、運転を停止し、負荷を外してください。

**④電源スイッチ**

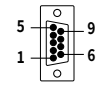
POWER　(UPSを運転・停止するスイッチです。)
UPSの運転‥‥‥‥スイッチを3秒以上押してください。
UPSの停止‥‥‥‥運転中にスイッチを3秒以上押してください。
セルフテスト‥‥‥‥運転中にスイッチを押してください。(3秒以内)

バックパネル



**⑤通信ポート(D-sub9pin)**

停電時にパソコンの
自動シャットダウンを行う場合に使用。




| ピン番号 | 定義 |
|---|---|
| 1 | LowBattery |
| 2 | NC |
| 3 | Signal Ground |
| 4 | Shut Down |
| 5 | NC |
| 6 | NC |
| 7 | Signal Ground |
| 8 | AC Fail |
| 9 | NC |

**⑥バックアップ出力コンセント**

停電時にバックアップするパソコン、ディスプレイを接続。
(消費電力合計が500VA以下)

**⑦入力コンセント**

商用電源コンセントに接続。付属の電源ケーブルを使用。
(必ずアースの接続もしてください。)

**⑧ヒューズホルダー**

入力過電流を保護するためのヒューズが入っています。

## 4.使い方

**①商用電源に接続します。**

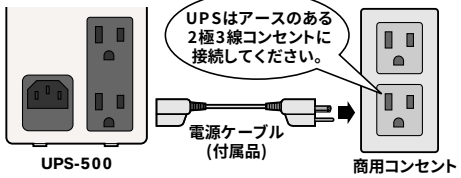
**⚠ 注意**

アース線を確実に接続してください。
アース線を接続していない場合、感電のおそれがあります。

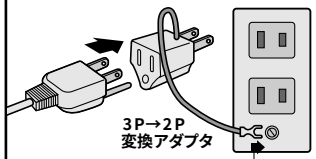
**⚠ 注意**

延長用の電源や蛸足配線となるアダプタは使用しないでください。

添付の入力電源ケーブルをUPS-500の入力コンセント(バックパネル⑦)に接続し、商用電源コンセントと接続してください。



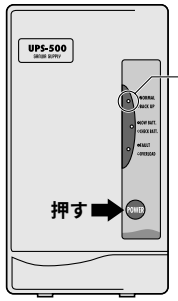

※入力電源ケーブルの差込プラグがコンセントに合わない場合は、付属の3P→2P変換アダプタを取り付けてから差し込んでください。




**②UPSのバッテリを充電します。**

電源スイッチ(フロントパネル④)を3秒以上押してください。

「ピー」という音が鳴り、
商用/バックアップインジケーター(フロントパネル①)の緑色のランプが点灯し、商用運転の開始とともに充電が開始されます。




**⚠ 注意**

UPSが故障し、異臭・異音がした場合はUPSをすぐに停止してください。
火災の原因になる場合があります。

※初めてお使いになる時は、無負荷状態で最低7時間以上は充電してください。
バッテリを充電しないで、UPSを使用することはできますが、その場合はバッテリのバックアップ時間が減少します。

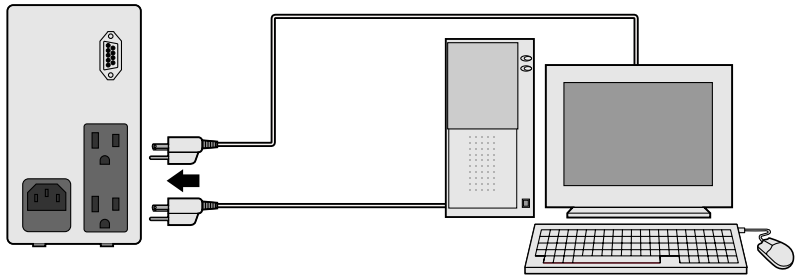


**③バックアップを必要とする負荷(PC本体・モニタなど)を接続します。**

**⚠ 注意**

負荷の消費電力の合計が500VA 5A(300W)以下にしてください。
本装置はコンピュータの周辺機器用に設計しています。
トランスやインダクタなどの巻線類負荷には適合しません。
レーザープリンタを接続しないでください。

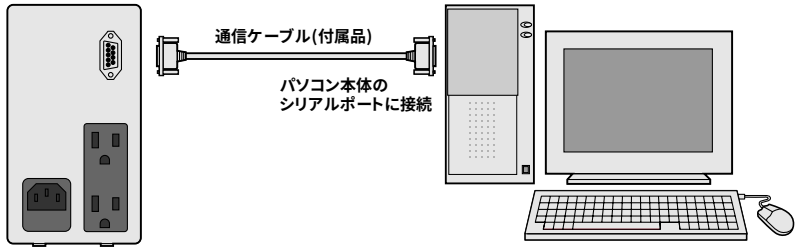
UPSの電源がOFFになっていることを確認してください。
(UPSの電源がONになっていたら、電源スイッチを3秒以上押してOFFにしてください。)
負荷(パソコンなど)をバックアップ出力コンセント(バックパネル⑥)に接続してください。



※接続する機器の電源がONになってないことを確認してから接続してください。

**④通信ケーブルを接続します。**

必要に応じて、UPSの通信ポート(バックパネル⑤)とバックアップをするパソコンのCOMポートとを付属の通信ケーブルで接続してください。

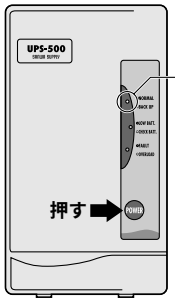


⑤始動します。

**⚠ 注意**

UPSが故障し、異臭・異音がした場合はUPSをすぐに停止してください。
火災の原因になる場合があります。

電源スイッチ(フロントパネル④)を3秒以上押してください。
「ピー」という音が鳴り、商用/バックアップインジケーター(フロントパネル①)の緑色のランプが点灯したら、電源スイッチを放してください。




⑥負荷(コンピュータなど)の電源スイッチをONにします。
UPS-500に接続した負荷(コンピュータなど)のスイッチをONにしてください。

⑦セット完了です。
負荷(コンピュータなど)の動作が正常であればセット完了です。
次の注意のもと、UPS-500をお使いください。

**⚠ 注意**

通風口に棒・指などの異物を入れないでください。感電のおそれがあります。

入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が環流し、アークが発生してやけど・視覚の障害などのおそれがあります。

UPSが運転している状態で入力電源ケーブルを抜かないでください。
感電・やけどのおそれがあります。

運転中はUPSを絶対に移動させないでください。感電・やけどのおそれがあります。

負荷を減らす場合、UPSを停止させてください。火災・やけどの原因になる場合があります。

**⊘ 禁止**

UPS周辺での喫煙・火気の使用を禁止します。爆発・破損により、けが・火災のおそれがあります。

UPSの上部に花瓶など水の入った容器を置かないでください。花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電・UPS内部からの火災の原因になることがあります。

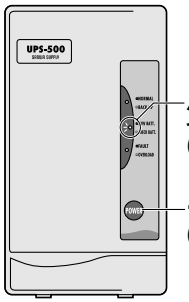
UPSの上部に乗ったり、踏み台にしたりしないでください。

次のような用途には絶対に使用しないでください。
a.人命に直接かかわる医療機器などへの使用。
b.人身の損傷に至る可能性のある航空機・電車・エレベータなどへの使用。
c.社会的・公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用。
d.これらに準ずる装置。



＜UPS-500のセルフテストをする場合は＞

⑧UPSが商用運転中に電源スイッチ(フロントパネル④)を2秒以内押してください。
バッテリインジケータ(フロントパネル②)の黄色いランプが短く点滅し、セルフテストを実行した後、商用運転にもどります。




＜UPS-500を停止させる場合は＞

⑨負荷(コンピュータなど)を停止させます。
UPS-500に接続した負荷(コンピュータなど)を停止させてください。

⑩UPS-500を停止させます。

**⚠ 注意**

UPSが運転中(商用/バックアップインジケーター点灯)に、入力電源ケーブルを抜かないでください。停電と同じ状態になり、バッテリが放電します。

(1)電源スイッチを3秒以上押してください。

(2)UPSが停止すると、商用運転表示の緑色のランプが消灯します。
商用/バックアップインジケーターのランプが消灯したら、電源スイッチを放してください。

(3)UPSが停止します。

## 5. 長期間使用しないときは

**⚠ 注意**

本UPSは定期的に交換してください。
交換時期を過ぎたUPSは火災の原因になることがあります。

**⚠ 注意**

バッテリは使用しなくても自然放電します。3ヶ月ごとに24時間のバッテリ充電運転を行ってください。
バッテリが使用できなくなることがあります。

**⚠ 注意**

UPSが運転中(商用 /バックアップインジケーター点灯)に、入力電源コードを抜かないでください。停電と同じ状態になり、バッテリが放電します。

通常の始動/停止は、電源スイッチで行ってください。

バッテリの自己放電による電圧低下を防ぐために、UPS-500を商用電源に接続しバッテリの充電を行う必要がありますが、長期間使用しない場合には次の操作を行ってください。

①電源スイッチを約3秒以上押してください。

②UPSが停止すると商用運転表示の緑色のランプが消灯します。
商用バックアップインジケーターのランプが消灯したら、電源スイッチを放してください。

③UPSが停止します。

④入力電源ケーブルを入力コンセントから抜き、入力電源ケーブルとUPS-500を一緒に保管してください。



## 6.停電時の動作

停電が発生すると…

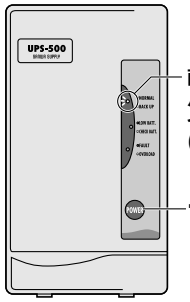
**①商用運転からインバータ運転に切り換わります。**

商用/バックアップインジケーターの緑色ランプが「ピー」というブザー音とともにゆっくりと点滅します。

ランプの点滅とともにゆっくりしたブザーの断続音が鳴ります。

電源スイッチを押すとブザーが止まります。(2秒以下)
再び、電源スイッチを押すとブザーが鳴ります。
(2秒以下)

※注意:3秒以上押すとUPSが停止し、負荷への出力が止まります。




商用/
バックアップ
インジケーター
(点滅します。)

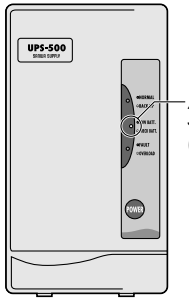
電源スイッチ

**②3.5分以内に負荷の処理をしてください。**

コンピュータをご使用の場合は、データをセーブしてください。
その他の機器をご使用の場合は、必要な処置を行ってください。

**③バッテリの残量が少なくなります。(ローバッテリ)**

ローバッテリになると、ブザーの断続音が早くなり、バッテリインジケーター(フロントパネル②)の黄色ランプが点灯します。




バッテリ
インジケーター
(点灯します。)

**④バッテリがなくなるとインバーターが停止します。**

バッテリインジケーター点灯後、全負荷の場合約30秒後、半負荷の場合約45秒後に停止します。

※注意:バッテリが完全になくなると商用/バッテリインジケーターは点滅を止め消灯します。
また、バッテリインジケーターも消灯し、ブザー音も止まります。

**⑤商用電源が回復すると、自動的に商用運転に戻ります。**

商用/バックアップインジケーターの緑色ランプが点灯します。

## 7.通信ポートについて

UPS-500には下記の通信ポートを設けてあります。端子にはD-sub9pin(ドライコンタクト)を使用しております。ご使用の際は付属の通信ケーブルをご使用願います。

＜機能＞
①停電時の警告
②バックアップ運転時間内でのファイルの終了および保存
③UPSおよびパソコンの停止

バックパネル

| ピン番号 | 定義 |
|---|---|
| 1 | LowBattery |
| 2 | NC |
| 3 | Signal Ground |
| 4 | Shut Down |
| 5 | NC |
| 6 | NC |
| 7 | Signal Ground |
| 8 | AC Fail |
| 9 | NC |

| ピン番号 | 定義 | |
|---|---|---|
| 1 | LowBattery | :バッテリ出力が低下すると出力の信号はHIGHからLOWに切り換わります。 |
| 2 | NC | :ー |
| 3 | Signal Ground | :信号のアース |
| 4 | Shut Down | :4秒以上HIGHレベルが続くと、UPS-500は30秒後に停止します。 |
| 5 | NC | :ー |
| 6 | NC | :ー |
| 7 | Signal Ground | :信号のアース |
| 8 | AC Fail | :商用入力が停止すると出力の信号はHIGHからLOWに切り換わります。通常、ピンはHIGHレベルにあります。 |
| 9 | NC | :ー |

※付属のソフトと通信ケーブルで、停電時には、パソコンを自動シャットダウンさせることができます。(Windows95・98・NT・NetWare対応。)
※付属のソフトのインストールについては、ソフトのインストールガイドを参照して、「UPSentry-bas Unit」をインストールしてください。また、使用方法についてはソフトのヘルプメニューの製品情報を参照してください。
※WindowsNTの場合はOSに標準でインストールされているUPSモニタリングソフトと、UPS-500付属の通信ケーブルでパソコンの自動シャットダウンが行えます。



## 8.故障かな？と思ったら

**⚠ 注意**

UPSのカバーは開けないでください。
感電のおそれがあります。

故障かな?と思ったら、まず次の確認を行ってください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、修理を依頼してください。

| 問　　題 | 考えられる原因 | 処　　置 |
|---|---|---|
| UPSが起動しない。(ランプも点灯しない、ブザーも鳴らない) | 電源スイッチがONになっていない。 | 電源スイッチを3秒以上押して、UPSを起動してください。 |
| | UPSのヒューズが切れている。 | 1.UPSにつないでいる負荷を取り外してください。<br>2.背面パネルのヒューズを交換してください。 |
| | 入力の電圧が低すぎる。 | 入力電圧をチェックしてください。 |
| | UPSの故障 | 以上の対策で解決できない場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。 |
| フォルト/過負荷インジケーターが点滅、ブザーが鳴り続ける。 | UPS過負荷。 | 負荷の大きい装置を外してください。 |
| | 出力がショートしている。 | 出力の負荷をチェックしてください。 |
| バックアップ時間が定格より短い。 | UPSのバッテリが完全充電されていない。 | バッテリを7時間以上再充電してください。 |
| | UPS過負荷。 | いくつかの負荷を外してください。 |
| | バッテリの寿命が末期状態になっている。 | 停電によるバックアップ運転の頻度が多かったり、高温で使用されたりしている場合には、バッテリの消耗が大きく寿命が期待寿命より短くなります。新しい商品をご購入ください。 |
| | チャージャーもしくは他の部品の故障 | お求めの販売店までご連絡ください。 |
| パソコンーUPS間の通信がうまく作動しない。 | 転送速度の設定を間違っている。 | 転送速度の設定を変更して、再テストをしてください。 |
| | COMポートの接続を間違っている。 | パソコンのCOM1/COM2ポートを確認して再接続してください。 |
| バッテリインジケーターが3秒以上のやや長い間隔で点滅している。 | バッテリ故障。 | お買い求めの販売店にご連絡ください。 |
| | チャージャー故障。 | お買い求めの販売店にご連絡ください。 |

## 9.長くお使いいただくために

**①定期的な点検**

**⚠ 注意**

UPSのカバーは開けないでください。感電のおそれがあります。

**⚠ 注意**

UPSが故障し、異臭・異音がした場合はUPSをすぐに停止してください。
火災の原因になる場合があります。

通風口に棒・指などの異物を入れないでください。感電のおそれがあります。

入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。
運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が環流し、アークが発生してやけど・視覚の障害などのおそれがあります。

UPSが運転している状態で入力電源ケーブルを抜かないでください。
感電・やけどのおそれがあります。

運転中はUPSを絶対に移動させないでください。感電・やけどのおそれがあります。

負荷を減らす場合、UPSを停止させてください。火災・やけどの原因になる場合があります。

UPS-500には特別な手入れは必要ありませんが、長期間安全にご使用いただくために、次の1～3を定期的に点検してください。

(1)UPSの表面が異常に熱くなっていませんか?

(2)入力電源ケーブルが異常に熱くなっていませんか?

(3)装置側面の通風口が塞がっていませんか?

万一異常が見つかった場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

**②本製品の寿命について**

**⚠ 注意**

本UPSは定期的に交換してください。交換時期を過ぎたUPSは火災の原因になることがあります。

**⊘ 禁止**

当社が指定した保守員以外の人は、保守・修理をしないでください。感電・けが・火災のおそれがあります。

UPS-500の装置寿命は約5年です。寿命がきたらお買い上げの販売店にご相談ください。

| | バッテリ(注1) |
|---|---|
| 交換時期 | 目安として約5年(注2・3) |
| 交換単位 | UPS-500一式 |
| 交換連絡先 | お買い上げの販売店 |

製品の交換は有償(新規購入費+UPS廃棄費用)となります。

(注1)UPS-500に使用しているバッテリは、メンテナンスフリータイプですので日常の保守は不要です。
(注2)使用開始日が装置の上面のラベルに表示してありますので、早めに交換してください。
(注3)5年は周囲温度20℃における目安です。周囲温度が高い場合や停電の発生頻度が多い場合は寿命が短くなります。(周囲温度30℃の場合は2.5年となります。)



## 10.保証とアフターサービス

**①保証書**

この製品には保証書が、添付されています。保証書の内容と所定事項が記入されていることをご確認の上、大切に保管してください。保証期間は12ヶ月です。

**②アフターサービス**

アフターサービスについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店にどうぞ!

(1)保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づき、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。販売店に連絡されるときは、右記のことをお知らせください。

①品　　名：小型無停電電源装置
②品　　番：UPS-500
③お買い上げ日：保証書に記載
④故障の状況：できるだけ詳しく

(2)保証期間終了後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

## 11.仕様

| 項目 | | 規格・または特性 | 備考 |
|---|---|---|---|
| 品番 | | UPS-500 | |
| 給電方式 | | 常時商用給電方式 | |
| 入力 | 相数・線数 | 単相・2線+アース | |
| | 電圧 | 100V±10% | 定格=100V |
| | 周波数 | 50/60Hz±3Hz | 自動検出 |
| | 最大入力容量 | 最大500VA以下 | 商用給電+充電時 |
| バックアップ出力 | 相数・線数 | 単相・2線+アース | |
| | 定格容量 | 500VA(300W) | PF=0.6 |
| | 電圧 | 100V±6%以内 | |
| | 電圧波形 | 矩形波 | |
| | 周波数 | 50/60Hz±1% | |
| | コンセント数 | 2個 | NEMA5-15R |
| 出力切替時間/商用→インバータ | | 10mS以下 | |
| バッテリ | 種類 | 小型シール鉛蓄電池 | 長寿命タイプ |
| | 容量 | 12V/7Ah | |
| | 個数 | 1個 | |
| | 定格電圧 | 12V(12V/1個) | |
| | 停電保証期間 | 3.5分(全負荷)/8分(50%負荷) | 20℃ |
| | 充電時間 | 7時間で90% | |
| 表示 | | 商用/バックアップインジケーター、バッテリインジケーター、フォルト/過負荷インジケーター | LED表示 |
| 警報 | | ブザー | |
| 騒音 | | 40dB以下 | 装置正面1m、A特性 |
| インターフェース | | D-sub9pin(ドライコンタクト) | |
| 使用温度 | | 0～40℃ | UPS周囲温度 |
| 相対湿度 | | 10～90% | 無結露 |
| サイズ | | W85×D220×H155mm | |
| 重量 | | 4.5kg | |

※本仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライセンター／〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター／〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル1F ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル ☎06-395-5310 FAX.06-395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢/☎0762-22-8384


最新の情報はインターネットで！ http://www.sanwa.co.jp

98/12/KHAT